

水のあるくらしをまもるために

ながよごれた水を流さない

皿についた油や食べのこしは紙でぬぐい取ってからあらうなど、川の水をよごさないくふうをしましょう。



いちどよごれた川の水を、魚が住めるような水にするために必要な水の量(300ℓの風呂おけ何ばい分)



しょうゆ
大さじ1ばい(15ml)



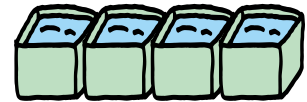
1ばい分



みそ汁(200ml)



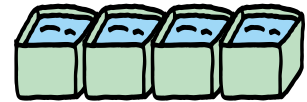
4ばい分



米のとぎ汁(2ℓ)



4ばい分



あぶら
天ぷら油(500ml)



330ばい分



川にゴミをすてない



紀の川に住むシオマネキ

自然を生かした川づくり

川は、生き物にとって住み家となったりエサをとる生活の場となります。

いろいろなしゅるいの生き物が川に集まり生活の場所になるよう、また川の水をきれいにするヨシという植物を植えたりすることで、きれいな川をいつまでもたもちつづけられるように、国土交通省では川岸を自然の状態にもどすとりくみをしています。

川が自然のきれいな状態になることで、川の水もきれいな状態をたもつことができます。



●先生方へ● シオマネキは有機汚染が進んでいるところには生息しないとされていることから、紀の川の水質が良いことのあらわれと言えるのではないのでしょうか。現在まとまった個体群が維持されているのは、徳島県吉野川河口、有明海沿岸、宮崎県本城河口ぐらいとされています。